

## 退職に際してのお礼

昭和59年4月に京都市立小栗栖中学校で数学科常勤講師として教師生活をスタートしました。

昭和60年4月に京都市立洛西中学校に数学科教員として採用され7年間。平成4年4月から京都市立松尾中学校に7年間勤務。平成11年4月から京都市立久世中学校に8年間勤務。平成19年4月から京都市立桂川中学校に5年間勤務。平成24年4月から京都市立北野中学校に教頭として赴任。平成29年4月に京都市立北野中学校の校長に昇任し、北野中学校には8年間お世話になりました。

### 【地域の皆様へ】

北野中学校に赴任してから2年目頃から、北野中学校校区の地域性を強く感じるようになりました。3行政区（北区・上京区・中京区）の4小学校（現在朱雀第二小学校は全員西ノ京中学に入学）から生徒は入学してくるため、中学校の対応は3行政区毎になります。当然、警察も3警察署への対応です。その他、3行政区に絡むことで多くの対応が必要でした。ただ、そのような中でも、各行政区の各種団体の方々は、『北野中学校のためならば』の一言で、協力していただきました。私の名前が『北野』というだけでも親しみを持っていただき、まるで何十年もこの地に住んでいたような錯覚さえ起ることがありました。地域がこれほど北野中学校を愛していることを、感じれば感じるほど、『北野中学校を良くしていかなければ』というプレッシャーがかかりました。【教育の成果は、生徒の姿で語る】といわれます。私が地域の皆様から受けた暖かい心への恩返しができているかどうかは、10年後、20年後の生徒達が地域に貢献する姿で結果が出てくると思います。これからも、長い目で北野中学校の生徒を見守ってください。

### 【保護者の皆様へ】

保護者の皆様、特にPTAの役員の皆様には、皆様の心遣いで、近い距離で接することができました。よく『中学校のPTA活動は、地域で、将来の茶飲みと友達、しゃべり友達、歌い友達……を作る最後のチャンスです。』と言っていましたが、たくさんの友達ができるでしょうか、保護者の友達の輪が広がれば、生徒達は、より多くの保護者の目で守られていくと思います。『地域の子は地域で育てる』と言いますが、私は、『北野中学校の生徒は北野中学校の保護者で育てる』正確には保護者でなくPTA（Parent-Teacher Association）だと思います。昔ながらに、『○○さんちの□□君が……』があちこちで会話されることが大切だと思います。『近い距離=本音』こそ、生徒を間違いのない道へと導いていくと思います。これからも、近所のうるさい△△さんちのおばちゃん（おじちゃん）でいてください。

## 【卒業生の皆様へ】

先日、今年度成人となった卒業生の皆さんの祝賀会に呼んでいただきました。私が教頭時代の生徒のみなさんです。そのときは、当時の学年主任の先生や担任の先生、1年時に担任をしていたが転勤してしまった先生も入れて7名の教師が参加していました。なぜ教頭の私が呼んでもらえたのかわかりませんでしたが、参加して感じたのは『いつまで経ってもあのとき（中学3年生）のまま』ということです。卒業生のみなさんは、見違えるほど立派に成長しており、中学卒業後の努力は計り知れないと感じましたが、各先生方と話している姿や、友達同士で話している姿は、まさに中学3年生の時のままでした。

卒業生のみなさんは、卒業して何年、何十年経っても、ある意味北野中学の生徒なのです。困ったとき、悩んだとき、しんどくなった時は友達と話しましょう。必ず何かを思い出して前向きになれます。

## 【在校生の皆様へ】

みなさんがこれから北野中学校で育っていき、卒業していく姿を見ることができないのが残念です。でも、みなさんが1年後、2年後に卒業していく姿は想像できます。それはみなさんが北野中学校で、先輩方と同じように、しっかりと学んでいくと思えるからです。うまくいかないこともあるでしょう。失敗もあるでしょう。でも、気がつけば、しっかりと成長しているはずです。自分に自信を持って頑張ってください。

## 【最後に】

新型コロナウイルス感染症により、離任式が中止となりました。皆様には、直接お礼をするべきですが、残念ながら叶いませんでした。皆様のおかげで、35年間の教師生活を全うすることができました。全世界を巻き込む困難な状況が一日でも早く収束し、太平の世の中が訪れる 것을 切に望むとともに、皆様の健康と穏やかな日々をお祈りします。

2020年3月31日

京都市立北野中学校長 北野 正成